

スチュワードシップ・セミナーのご案内

主催：一般社団法人 スチュワードシップ研究会

『企業と投資家との「対話」の進展』

【日時】2017年1月31日（火）午後2：00～4：30（受付開始1：30）

【会場】日比谷図書文化館コンベンションホール（日比谷公園内）

【プログラム】

I. 講演：「対話を巡る環境変化」

スチュワードシップ研究会 代表理事 木村祐基

II. パネルディスカッション：

「企業と投資家の「対話」の進展～この1年の環境変化を踏まえて～」

パネリスト：

永池 正孝氏 全国株懇連合会理事長

株式会社バンダイナムコホールディングス

コーポレートコミュニケーション室シニアアドバイザー

菊池 徹 氏 東京海上ホールディングス株式会社 法務部文書グループ

グループリーダー

今村 敏之氏 野村アセットマネジメント株式会社

責任投資調査部長

近江 静子氏 アムンディ・ジャパン株式会社

運用本部 ESGリサーチ部長

吉田憲一郎氏 いちごアセットマネジメント株式会社

副社長／パートナー

モデレーター：

木村 祐基 スチュワードシップ研究会 代表理事

【講師・パネリストのご紹介】

永池正孝（ながいけ まさたか）氏

全国株懇連合会理事長、東京株式懇話会会長。株式会社バンダイナムコホールディングス コーポレートコミュニケーション室 シニアアドバイザー。中央大学法学部卒業。1994年11月株式会社ナムコ入社。2005年の株式会社バンダイとの経営統合時に株式会社バンダイナムコホールディングスに転籍し現在に至る。企業法務を中心とする業務に長年従事し、経済産業省の株主総会のあり方検討分科会委員、株主総会プロセスの電子化促進等に関する研究会委員を務める。

菊池 徹（きくち とおる）氏

東京株式懇話会評議員部会部部長。東京海上ホールディングス株式会社 法務部文書グループ グループリーダー。東京大学法学部卒業。1995年東京海上火災保険株式会社入社。2009年から法務部に在籍。株主総会の運営、取締役会の運営、有価証券報告書の作成、コーポレートガバナンス報告書の作成等を担当。

今村敏之（いまむら としゆき）氏

野村アセットマネジメント株式会社 責任投資調査部長。慶應義塾大学卒。1994年野村アセットマネジメント入社。主に国内の公的年金基金向けの日本株式、転換社債、外国株式運用を経て、2003年よりニューヨークにて運用調査業務に従事。主に米国株式の調査を担当。2006年に東京に戻り、投資信託の分析評価業務を行うグループ会社において、外国株式ファンドの分析を中心に担当、2008年12月より同社ロンドン支店長。2013年4月に野村アセットマネジメントに戻り運用企画部長。2016年4月より現職。

近江静子（おうみ しずこ）氏

アムンディ・ジャパン株式会社 運用本部 ESGリサーチ部長。国際基督教大学大学院比較文化研究科修了。エス・ジー・ウォーバーク証券入社後、クレディ・スイス信託銀行を経て2003年にソシエテ ジェネラル アセット マネジメント（現アムンディ・ジャパン）に入社。企業調査活動に20年以上携わる。投資調査部長を経て2015年より現職。環境省「持続可能性を巡る課題を考慮した投資に関する検討会」委員（2015～）。

吉田憲一郎（よしだ けんいちろう）氏

いちごアセットマネジメント株式会社 副社長/パートナー。一橋大学商学部、同大学院国際企業戦略研究科(ICS)卒業。日興証券、ソロモン・ブラザース証券(現シティグループ証券)、ゴールドマン・サックス証券などで四半世紀にわたりアナリスト業務に従事。SMBC日興証券株式調査部長も努める。経済産業省「伊藤レポート」プロジェクトのメンバー。

木村祐基（きむら ゆうき）

一般社団法人スチュワードシップ研究会 代表理事。一橋大学商学部卒業。野村総合研究所企業調査部にて証券アナリスト業務に従事。同社エマージング企業調査部長、野村アセットマネジメント（株）企業調査部長兼経済調査部長、参事コーポレートガバナンス担当、企業年金連合会年金運用部コーポレートガバナンス担当部長、金融庁総務企画局企業開示課専門官を経て、2014年10月から現職。

【スチュワードシップ研究会について】

2014年2月に金融庁から公表された『日本版スチュワードシップ・コード』では、機関投資家が、投資先企業やその事業環境に関する深い理解に基づき、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、顧客・受益者の長期リターンの拡大を図ることが期待されています。機関投資家のスチュワードシップ活動は、議決権行使にとどまるものではなく、企業と「対話」を行うことを含めた幅広い活動を指すとされ、コードの原則7では、「機関投資家は、（中略）当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。」とされています。

本研究会は、主に日本株式に投資する機関投資家が会員となってネットワークを形成し、スチュワードシップ活動を行うための「実力」を備えるための研鑽の場を提供し、合わせて適切なスチュワードシップ活動を行うための環境整備に資することを目指しています。

具体的には以下のような活動を行っています。

- ① 機関投資家の情報交換・意見交換・情報共有の場の設定
- ② 外部講師等によるセミナー、研究会等の開催
- ③ 共同による企業等との対話の場の設定
- ④ 関係諸機関への提案・提言や意見発信等
- ⑤ 社会への情報発信、スチュワードシップ活動に関する理解の促進

□当研究会についてのお問合せや会員のお申し込みは、info@stewardship.or.jp にご連絡ください。

【申込み方法】

セミナーに参加ご希望の方は、お名前、ご所属（会社名、部署、役職）、ご連絡先（電話番号およびメールアドレス）を明記のうえ、メールの件名に「1/31 セミナー申込み」と記入して、1月25日までに、info@stewardship.or.jp までお申し込みください。

受付が完了した方にはメールでお知らせします。そのメールが参加証となりますので、印刷して当日受付にご提出ください。定員に達した場合は、その旨を当会ホームページ（<http://www.stewardship.or.jp>）でお知らせし、お申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

なお、「事前のご質問」をお受けいたします。ご質問がある方は、参加お申込みのメールに「事前質問」として、ご記入ください。パネルディスカッションの中で、できるだけ回答させていただきたいと思っております。時間の制約などにより、全てのご質問にお答えできない場合は、ご了承ください。

参加費；1,000円（当日会場受付にてお支払いください）

交通アクセス



*専用の駐車場はありません。日比谷公園地下駐車場をご利用ください。